

ペレットボイラー

飯田建設㈱では木質ペレットボイラー効果的な導入をお勧めしております。
 基本的に既存の油焚きボイラー（灯油、A重油等）にペレットボイラーを追加し、ペレット、油併用の熱供給システムをご提案いたします。温浴施設等、大規模で熱負荷変動が激しい施設ではそのほうがコストダウン効果が出るからです。
 ペレットと油のコンビネーションは、ちょうど電気とエンジンで動くハイブリッドカーのようなものです。ペレットを含む木質燃料は、焼きや灰の蓄熱効果による持続性のある発熱の特性があり、一方、油燃料は瞬間発熱を得意とし追従性の良さが特長です。施設ではペレットボイラーをメインに焚き、朝の立上げ時と夜の利用者ピーク時に油焚きボイラーを運転する等、両者の特性の最適な組み合わせにより大きなコストメリットを生み出します。

ペレットボイラー導入により大きな効果を上げた温泉施設例を紹介します。
 従来700kw2基の重油焚きボイラーで、年間約23万リットルのA重油を消費していた。550kwのペレットボイラー1基追加導入し、木質ペレットとA重油のハイブリッドで運転をしている。朝の立上げ時のみ油焚き2基、ペレット1基を稼働し、通常はペレットボイラーのみの運転としている。厳冬期は油焚きの時間は延長している。

<結果>

従来	ペレットボイラー導入後
年間 A重油消費量 234,000リットル	A重油消費量 51,000リットル+木質ペレット 220トン 金額にして燃料代400万円超の削減

総熱量 約900万MJ → 約600万MJ
 約35%の削減

CO2（二酸化炭素）排出量 約634トン → 約138トン
 約80%の削減



業務用ペレットボイラー

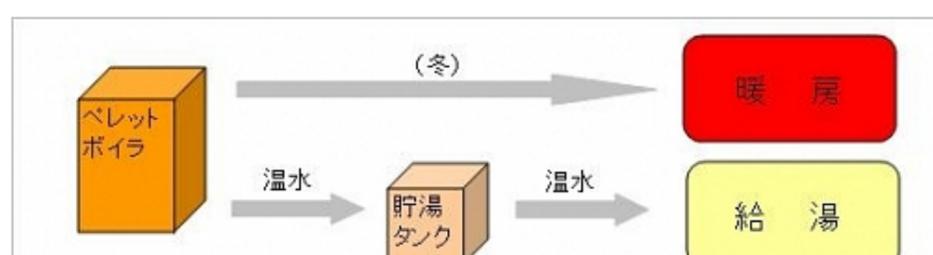


ペレットボイラー機械室及びサイロ



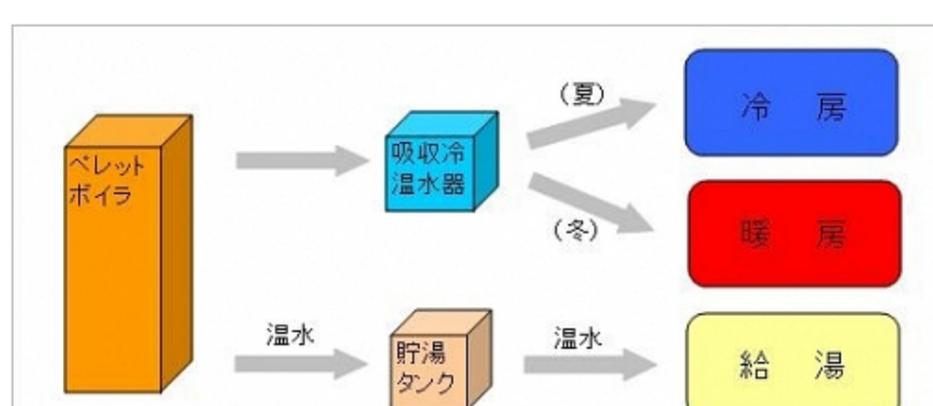
家庭用ペレットボイラー

標準熱供給モデル



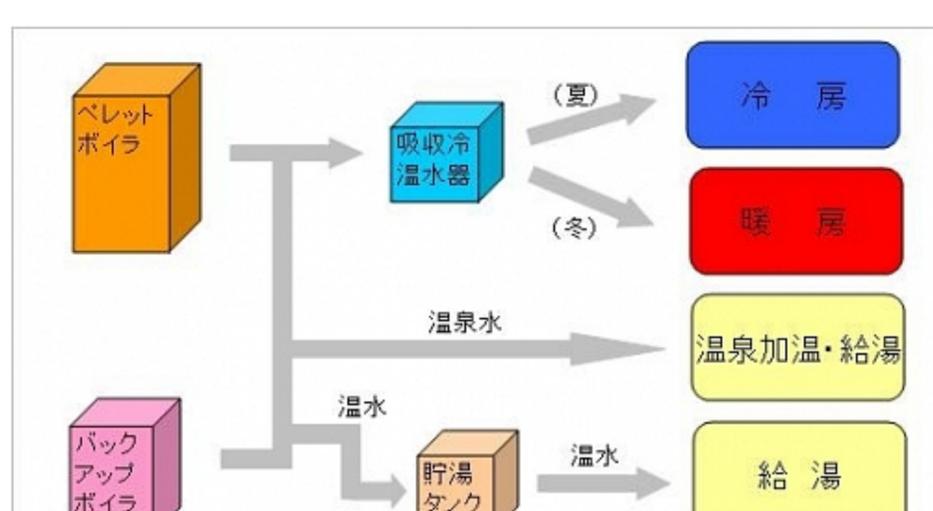
使用例：事業所、工場、公共施設、学校、浴場、スイミングプール、介護福祉施設、一般家庭

冷暖房熱供給モデル



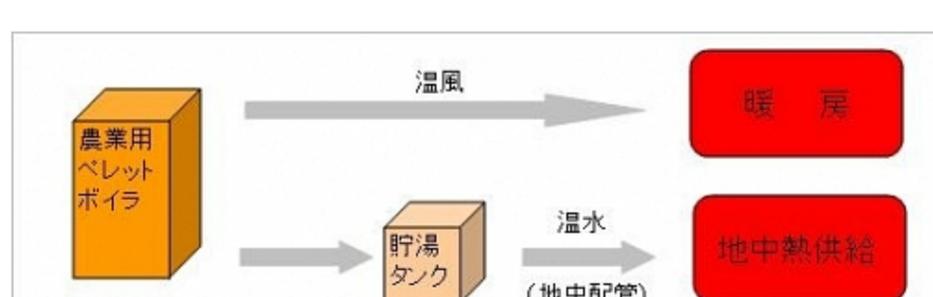
使用例：冷房、暖房両方必要な施設

既存のボイラーと併用熱供給モデル



使用例：温泉施設等でペレットボイラーをメインに、油焚き等の既存のボイラーを補助的に使う

農業施設熱供給モデル



使用例：温室、ビニールハウス等